

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
宗教学		選択	1	1.2	前期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
井上ウィマラ	B312	v.inoue	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 宗教を学ぶことを通して人間理解を深めることを目的とする。まずは人類史における宗教現象について経験科学の視点から概観し、次に伝統的宗教の世俗化とその再聖化としての現代社会におけるスピリチュアリティの興隆について学ぶ。まとめとしてキリスト教、イスラム教、仏教を概観しながら、臨床現場でクライアントを尊重するための基盤について考える。</p> <p>〈概要〉 同時双方向型遠隔授業により、各テーマについて講義して、質問やコメントを受けながら検討を深めてゆく。予習をしっかりとて、事前に提示された資料については熟読しておくこと。</p>				
学習上の助言	日常生活における自分にとっての宗教性やスピリチュアリティについて内省することが役に立つ。				
教科書	『よくわかる宗教学』櫻井・平藤編著 ミネルヴァ書房				
参考書	『宗教学入門』脇本平也 講談社学術文庫 『スピリチュアリティの興隆』島菌進 岩波書店 『神話の力』ジョセフ・キャンベル、ビル・モイヤー 早川書店 『宗教体験の諸相』ウィリアム・ジェームス 岩波書店				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	宗教とスピリチュアリティの違いについて説明できる。			HSU(4)	
②	クライアントの健康にとって何が役に立つのかを多様な視点から考えられる。			HSU(1)	
③	神話の持つ力について現代的視点から説明できる。			HSU(3)	
④	伝統的宗教 (キリスト教、イスラム教、仏教など) の基本要素について理解する。			HSU(2)	
⑤	人生における生と死の意味を見出すための支援ができるようになる。			HSU(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	宗教、宗教学とは何か。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	配布資料を読みながら、自分が意識的・無意識的に信じるもの、頼るものについて考える。	3	
2	アニミズムとシャーマニズムについて。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	アニミズムとシャーマニズム、「創造の病い」(エレンベルガー) について調べる。	3	
3	宗教体験と生きる力としての神話について。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	回心、悟りなどの宗教体験について調べる。好きな歌や映画の持つ神話的意味について考える。	3	
4	スピリチュアリティの興隆について。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	宗教とスピリチュアリティの違いについて考える。健康の定義におけるスピリチュアリティの役割についてまとめる。	3	
5	キリスト教について: 罪、赦し、愛の視点から。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	キリスト教について調べ、愛とは何かについてまとめる。	3	
6	イスラム教について: 帰依、平等、平和の視点から。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	イスラム教について調べ、平等と平和についてまとめる。	3	
7	仏教について: 真理、解脱、方便の視点から。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	仏教について調べ、解脱と悟りの違い、中道の視点から思いやりについてまとめる。	3	
8	まとめ: レポート作成に向けての質疑応答。 授業中に質問やコメントを受けながら検討を深める。	同時双方向型遠隔授業	レポート課題について考え、資料を集め、考察し、レポートにまとめてゆく。	8	
試	レポート課題: 授業で取り上げた内容から一つのテーマを選んでまとめ、その学びを今後の臨床現場でどのように生かしてゆきたいかについて述べよ。				

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	レ	注意点：以下の2つの視点から評価する。 ① 授業内容が正確に理解されているか。 ② 学びの活かし方について自分なりの考えがしっかりと述べられているか。				コメントを付して返却。
	②	レ					
	③	レ					
	④	レ					
	⑤	レ					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
Teams を使った同時双方型授業を行う。授業時は、通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の状況に伴う社会情勢によって再度シラバスが変更されることがありうる。							